

萌黄 (もえぎ) 通信



みなさんお元気ですか？ゴールデンウィークは満喫できましたか？

弊社は、宮城県で石材メンテナンスの施工がありました。今年が5年目で来年まで引き続きあります。宮城での楽しみは、生

カキを食べられることでしたが、今年は時期が今一つ早いようで、4日間いましたが「生」は全くと言っていいほど口にできませんでした。来年に期待したいと思います。

ゴールデンウィークの後半は事務仕事のため部屋に籠っていましたが、突然、現調の話があり小淵沢へ行ってきました。帰りに寄り道してリゾナーレ小淵沢でコーヒーを飲んできましたが、祝日中とあってメイン通りは朝市のような混み具合でした。また、結婚式を挙げたばかりの新郎・新婦が衣装を

着たまま移動したりしていて雰囲気マッチしていました。写真の「花の絨毯」は今年で10年目の行事のようです。さすが星野リゾート。行く度に変化しているので、



とても楽しく仕事上でも参考になることが多いですね。

「浸透性コート剤の剥離施工」

今月の石材メンテナンスは、あるオフィスの共用部に浸透性のコート剤を塗布したのですが、最後のコート剤の拭き上げが甘かったようで、表層にコート剤が残ったまま乾燥し、所々がムラになってしまっている現場からです。

浸透性のコート剤は、しっかりと浸透層を形成させるためにコート剤を飽和状態になるまで塗布するのが原則で、最終的に吸わなくなって、上に溜まったコート剤を拭き上げることが大切です。誰にでも簡単にできる作業なのですが、意外と、この単純なことをおろそかにして、写真のようなコートムラを作ってしまうことが多々あります。お話を聞くとコート施工後日経っていないということなので、今回のような剥離施工で対処できましたが、日経つうちにつれてコート剤が完全乾燥してしまうと、今回のような施工でもムラが取りきれなくなるので要注意です（この現場でも、乾ききってムラが残った部分がありました）。写真の施工部分へは、剥離

剤をたっぷりと塗布して2時間以上の放置を3回位繰り返して、何とか目立たないくらいになりました。別途で、シリコン用剥離剤も使用しましたが、ムラが出来て間もない時は今回のような施工方法が有効でした。



1. 浸透性コートのムラ



2. 剥離塗布



3. 塗布後放置



4. ムラ除去後

バスルームの白大理石のシミ抜き施工

バスルームの床石が茶色く変色しています。一般的には、白大理石特有の鉄分の酸化が多いのですが、今回は、モルタルのアクが原因のようで、すっきりと抜けました。



（編集後記）我が家から一番近い山の蛾ヶ岳（ひるがたけ）に登ってきました。標高は1279mしかありませんが、ここが今年の登山の始まりの恒例行事となっています。

萌黄通信 毎月1回発行

発行編集責任者 (株) ケイ・アンド・エス 堀内貢次 (ほりうちこうじ)

(東京出張所) 東京都港区浜松町1-1-10 5F タスク内

(電話) 03-3431-1293 (Fax) 03-3431-7198

<http://www.e-kands.jp>

(メール) info@e-kands.jp